レッスン：PYR No.15

テーマ：シンボル…法則と星

PYR No.15 KE04 N0.4 10/12/03

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちはいつも主、絶対、主の聖性に抱かれています。

　過去に14芒星と呼ばれるシンボルについて話しました。このシンボルはまた法則でもあり、この法則は現在のパーソナリティーの初めての転生から最後の転生まで付き添っています。最後とは自己実現に到達する時です。

　言い換えれば、このシンボル、法則は現在のパーソナリティーが辿る様々なステーションを意味します。

**現在のパーソナリティーと言いましたが、実際それは「永遠のアトム」です。**

なぜなら現在のパーソナリティーとは一回の転生だけのものであり；

実際には「永遠のアトム」が各現在のパーソナリティーを転生させる乗り物なのです。

　ですから「永遠のアトム」がこの法則に付き添われています。そしてその時の現在のパーソナリティーが経験を経る必要があります。そしてそれらの経験の結果として、あるレベルから次のレベルへと進んでいくのです。これが14芒星の意味することです。

　14芒星は現在のパーソナリティーが自己実現に到達したら現在のパーソナリティーに何かを提供するのでしょうか？それは現在のパーソナリティーに他の同胞の人間達の苦しみを軽減する能力を提供します。自己実現に到達する以前、14芒星は現在のパーソナリティーを抱きしめていました；つまり現在のパーソナリティーは実際14芒星のなかにいたのです。

　説明したように、現在のパーソナリティーは5芒星のなかに見いだされます。しかし、五芒星は14芒星のなかにあるのです。

　現在のパーソナリティーが自己実現に到達すると、もはや14芒星を必要としません。しかし、もし自己実現した現在のパーソナリティーが転生のサイクルのなかに留まるなら、その場合には14芒星には前に述べたような役割があります；それによって自己実現した現在のパーソナリティーが他者の苦痛を軽減することができるように；そして現在のパーソナリティーはその頭の上に14芒星があります。

　ですから14芒星がありますが、同時に私たちにはもう一つの小さな14芒星もあります。それは太陽神経叢に根ざしており、この14芒星は転生毎に変わります。なぜなら、それはその特定の転生だけのものだからです。

　もう一つのシンボルは五芒星です。それには2つの意味と2つの目的があります。最初の、そして最も重要なものは、それが元型である人間のイデアフォームを意味することです。そして勿論、そのフォームのためにはもう一つの元型が必要です。それは創造の元型、つまり生命の木です。

　ですから、創造界における最も重要なシンボルは生命の木としての創造の元型であり、また元型としての人間のイデアフォームです。ですからこれら2つのシンボルは創造界において最も重要なシンボルです。

　五芒星としてのシンボルのもう一つの意味は5つの感覚とそのシャドー（影）です。そしてまた、現在のパーソナリティーに関して五芒星は２つになります。元型としての人間のイデアフォームを象徴する大きな五芒星があり、私達の状態はその中にあります。そしてもう一つより小さな五芒星があり、それは太陽神経叢に根ざしています。ですから太陽神経叢には2つのシンボルがあります；五芒星と14芒星です。それら2つのシンボルはより大きなシンボルに比べると小さくなります。

Page2

 過去のレッスンで四面ピラミッドの中に立っている現在のパーソナリティーは純白のサイドに面しており、その白い輝きのなかに徐々に像が現れると言いました；そしてこの像は、それはまさに人間のイデアの形をしていますが、それはとても輝いています。さてその像にフォーカスしてもその像に関する詳細を見ることができません。あまりにも輝いています。それはあたかも私たちが裸眼で太陽にフォーカスするようなものです。それは不可能です。

　そしてこの像はLifeそれ自体の体を意味しています；それは私たちのなかにあるLifeのスパークです。それは元型である人間のイデアフォームの同一体です。それは天上人の体と同一体です。それは私達のなかのどこにあるのでしょうか？私たちから離れたところにあるのでしょうか？違います、それは現在のパーソナリティーを活性化し､生かしているLifeのスパークです。それは現在のパーソナリティーとしての影を創造するヒポスタシス（状態）であり、それは私たちの内側にあります。

　しかし、私たちが四面ピラミッドを創造し、私たちはその中にいるのに、それがどうして私たちの内側にありえるのでしょうか？もしそれが私たちの内側にあるのなら、四面ピラミッドも私たちの内側にあるはずです。違いますか？そのとおりです。私たちが創造する四面ピラミッドでさえも私達の内側にあるのです。四面ピラミッドのみならず、法則を意味する全ての他のシンボルも私たちの内側に見いだすことができます。私たちが創造するもの、それは助けであり、その助けによって現在のパーソナリティーはアプローチし、それらの法則にワークすることができるのです。ですから助けとして私たちが創造するもの全ては私たちの内側にあるのです。

　さてその像に面して立つ時、私たちには前に述べたようなヒポスタシスがあります。どのようなものでしょうか？サイコノエティカル体と共にある私たちの肉体は五芒星の中にあり、その五芒星は14芒星のなかにあります。ですから四面ピラミッドのなかに立つ時、そのようなヒポスタシスで立っています。ですから勿論、そのようなヒポスタシスを含む四面ピラミッドはとても大きくなります。そして私たちたちは正面の像に面しています。

　さて、私たちの前にある像についてはどうでしょうか？五芒星および14芒星のなかで像を見るでしょうか？どう思いますか？五芒星は元型である人間のイデアフォームを意味しています。私たちは正面に何を見るのでしょうか？私たちは何であれ五芒星が意味するものを見るのです。ですから状態として正面に見るものとは別のものとしては五芒星が見えることはありません。それは五芒星のように見えます。

　ですからそのポジションから五芒星を、そして14芒星を見ることはないでしょう。なぜなら、結局その体はLifeがその本質を完全に表すために使用する完全な体だからです。ですから14芒星はもはや何をも意味しません。しかし、もし体が再び現在のパーソナリティーを活性化するなら、それは前に述べたように、異なります。

　**さて現在のパーソナリティーは思考・行動の仕方以外の何ものでもありません。**

そしてそれは現在のパーソナリティーが二元性を現していることを意味します。

これ全てについては前に述べました。

二元性は現在のパーソナリティーに思考という神の贈り物を与えます。

現在のパーソナリティーは意味を通じて自分自身の実在を理解します。

そして、

前に述べたように現在のパーソナリティーは実際に2つの小さなエゴのなかにいます。

そして初め、それら2つは1つになっていますが、経験を経る結果としてそれら2つは分離していきます。

 　なぜ分離するのでしょうか？二元性だからです。1つはLifeそれ自体によって､私たちのなかにあるLifeのスパークによって引っ張られます。しかしそのスパークの主となる部分はそれらの二元性の1つのなかに、それらのエゴの1つのなかに根ざしています。そして実際に1つはその影を創造するものの方へ移行していきます。その結果、2つの間に距離が生じます。そしてこの距離の結果、現在のパーソナリティーに罪悪感、罪の意識が生じます。

　Lifeは実際あらゆる所にあり、それは私たちの実在にも当てはまります。ですから、現在のパーソナリティーを活性化するスパークとしてのLifeはそれら2つの小さなエゴの中だけでなく、私たちの実存を構成している全てのなかにあるのです。しかし、活性化する意識のスパークとしては、それはあらゆる所にありますが、しかし主にそれら2つのエゴのなかにあると言うことができます。

Page3

さて、エクササイズのなかで意識の一部を正面の像のなかに送ると言いました、つまり四面ピラミッドの中央で立っている所から意識の一部分を像に送るということです;実際にそうなのでしょうか？

　立っているところでは意識が完全にあり、その一部を正面の像に送るということでしょうか？答えはノーです。すでにそこにあるのです。なぜなら、説明したように、正面に見えるスパークは私たちの中にあるからです。

　私たちがしなければならないことは、私たちがこの二元性を現わすことができる、ということを認識することです。しかし、もし正面にある像を使用するとするなら、その現れは純粋です。そして私たちはそれを試みる、完全であるその体の中でその二元性を活性化するのです。

　そしてLifeのスパークがそれを使用するのではありません、Lifeはすでにそこにあります、スパークが活性化させるもの、つまり私たちの思考・行動が活性化されます。そうなるでしょう。現わすための手段として現在のパーソナリティーの不定形の諸体を使用して手段として使用されると、自動的にその現れは前と同じではないでしょう。

ですから、現在のパーソナリティーがそれ自体を現わす2つのポジションがあります。フォーカスする2つの手段があります。ピラミッドの真ん中に立っている身体があり、もう一つは純白のサイドの中です。

　さて1つがもう1つにフォーカスしています。もしピラミッドの真ん中からフォーカスすれば、右手には赤の輝きが、後ろにはホワイトブルーの輝きが、そして左にはウルトラバイオレットの輝きがあります。そして正面には純白の輝きがあり、私たちはそこにあるLifeそれ自体の体にフォーカスします。

　しかし今、私たちはLifeそれ自体の体を使うこともできます。そしてその位置から見ると右側にはウルトラバイオレットの輝きが、左には赤の輝き、そしてピラミッドの真ん中に立っている私たちの肉体の背後にはホワイトブルーの輝きがあります。

　この位置から私たちがすべき努力とは、現在のパーソナリティーの現れを分析することです；

私たちの真の現れを分析します。

なぜなら、前に述べたようにこの位置からは現れの制限、境界がありません。言い換えれば、現在のパーソナリティーであってもLifeそれ自身の完全の体を使用することによって、私たちには現れの制限がないからです。

私たちは自分自身を完全に分析し、自分の真のレベル、姿を見ることができます。

　勿論ゆっくりと徐々に自分自身の真の現れのレベル、姿を認識できるようになります。

毎日の生活のなかでどのように自分自身を現しているか、同胞の人間たちに対してどのような態度で接しているか等。つまり、真実の正確な分析ができるのです。しかし、勿論それは一生懸命努力することによって可能となります。あなた方は過去に与えられた全てのエクササイズを実践する必要があります。そして徐々に何が起きるかというと、そこに留まり現在のパーソナリティーを生かしている意識が、Lifeそれ自体の体にどんどん近づいてくるのです。

　それは移動するのでしょうか？実際には違います、なぜなら前にも述べたようにこれ全ては私たちの中にあるからです。

Q：小さな14芒星を完了したら、私たちは肉体を去る、つまり死ぬのですか？

K：そうです、小さな14芒星の完了は、そのパーソナリティーが肉体を去ることを意味します。

Q：あなたはパーソナリティーに14芒星を見ることができるのですか？

K：14芒星を見ることはありません。なぜなら、それは法則であり、それら全てのシンボルは法則を意味しているからです。14芒星はその法則を使うことによって助けられる助けではありません。それは助けにはなりません。他のシンボルは法則であり、また現在のパーソナリティーを助けています。まず、それらはLifeのスパークが影を創造するのを助け、また影が制限ある現れのなかに入るのを助けます。そしてまた法則はその反対のことをも助けます。つまり現在のパーソナリティーが制限ある現れから自由になり解法されるのを助けるのです。

Page4

 しかし、14芒星は助けではありません。それは特定のルートを指定します。各人間が通過しなければならない道を。私は今大きな14芒星のことを話しています。小さな14芒星に関しても同じことが言えます。各転生において現在のパーソナリティーが通らねばならない道を特定します。そして現在のパーソナリティーがそのルートの詳細を変更することが出来るか否かに関しては、答えはイエスです。

　詳細という言葉で何を意味しているかと言うと、完了する時は変わり得ます。なぜなら、ひとたび私たちがこの世界で自分を現わすと、私たちには自由意志があり、新しい体験を創造することができます。新たな現在のパーソナリティーとして私たちは過去の全ての経験を持ってきます…過去から現在までの全ての転生における経験です；つまり、全ての過去の思考・行動の仕方の結果なのです。その結果として、私たちは特定のレベルの気づきがあるのです。しかしまた私たちには変える能力、そして加える能力があります。ですから完了する時も変わりえるのです。

　最初は確かに現在のパーソナリティーに特定の「時、時間」が与えられますが、しかしひとたびこの波動の世界で自分自身を現わし始めると、その時間、時を変えることができます。

Q：あるパーソナリティーが特定の14芒星と共にこの世に生まれてきます。そしてこの世で変えることができるのは「時間」だけで、それ以外は決まった経験をしなければならないのですか？

K：まず最初はそうです。なぜなら特定の原因・結果の法則につながっているからです。しかし、変わります。なぜなら私たちがこの世の中を進んで行くと、それはつまり経験の結果としてもっとより多くLifeそれ自体から現わすようになります。そしてそれによって、気づきのレベルが変わり、それはつまり私たちの現れの波動が変わるということです。

Q:私はこの転生においてはあまり多くの選択の余地はないものと思っていました。

K：はい、あなたには新たな現在のパーソナリティーとして変える能力があります。もしある現在のパーソナリティーの4分の３が過去から来たものであり、4分の１が変えることのできる能力だとしたら、それはかなり多いことになります。過去の全ての転生が4分の３ですから。

　ですから私たちには能力があります。各現在のパーソナリティーには潜在的可能性のサイクルがあります。しかし前に述べたように、私たちには蓋然的可能性のサイクルもあります。私たちはそれを経験しているでしょうか？私たちはそれを作りだしています。Lifeが可能性として提供しているものを利用する代わりに、私たちは無数の蓋然的可能性のサイクルを作りだしています。しかし能力はあります。可能性はあります。あなたには選択の余地があるのですが、しかしあなた方は常に正しい方を選択するわけでもありません。

　私たちの現れとは実際2つの小さなエゴなのです；私たちは常に小さな方によって影響されていると言うことはできません；私たちの二元性の1つの部分は無知に留まることを望み、もう一つの部分は気づきの上昇の方へ、影を創造する方へ（＊Lifeのスパークのほうへ）と引っ張っていきます。私たちの現れは小さなエゴであり、もう一つはLifeのスパークであると言うことはできません。私たちは全体（＊それら両方）です。時にはあなた方は何が正しいのか知っていますが、しかしそれを実行することができません。なぜならば､ほとんどの場合、他の部分が勝つからです。

　**それゆえに、自分の内側で決して戦いをしてはいけないと前に述べたのです。自分が何か間違いを犯したとわかったら、それを繰り返さないようにすべきです。戦いを生み出してはいけません。私たちは罪悪感をあまりにも強くして､内側で戦いを起こすべきではありません。なぜならそれは危険なことだからです。勝者は私たちのなかの低次の部分となるでしょう。なぜなら私たちは二元性の世界に生きているからです。**

Page5

レッスンPYR No.15 エクササイズ１

　目を閉じて静かに座り、あなたの心を騒がせるもの全てを解き放ちます…真っ白なあなた自身をイメージし、あなたの形の境界を感じます、同時に純白の五芒星のなかで守られている自分自身を見いだします…

　14芒星にヒポスタシス（状態）を与えます、ですからあなたは五芒星だけでなく14芒星のなかにもいます…

　それでは四面ピラミッドにもヒポスタシスを与えます、これは非常に大きなピラミッドとなります、五芒星と14芒星の中にいるあなたがその中心に立っている四面ピラミッドです…あなたは純白のサイドに向かって立っています…

　右には赤の輝き、後ろにはホワイトブルーの輝き、そして左にはウルトラバイオレットの輝きがあります…そうです、あなたは四面ピラミッドの4つのサイドから放たれる輝きに囲まれています…あなたは正面の純白の輝きにフォーカスします…そしてフォーカスする結果、徐々に正面のサイドに体が形成されてきます、Lifeそれ自体の体を意味するものです…それはとても完全で、あまりにも輝いているのでその顔の詳細がまったく見えません…

　それでは正面にあるLifeの体のなかであなたの意識の一部を活性化しようと試みます…徐々にあなたは2つのポジションからフォーカスできることを認識します…あなたが立っている真ん中の位置から、そして純白のサイドにあるLifeの美しい体からです…

　今あなたはこの美しいLifeの体からフォーカスし、あなたが知っているあなたの現在のパーソナリティーの体を観察します…それはピラミッドの真ん中に立っており、同時にそれは五芒星と14芒星のなかにいます…

　そしてLifeの体というその観察点から見ると、右側にはウルトラバイオレットの輝きが、左には赤の輝きが、そして中央に立っているあなたの現在のパーソナリティーの体の向こう側にはホワイトブルーの輝きが見えます…このポジションからだとあなたの観察は純粋であり…あなたの現在のパーソナリティーの現れを分析することができ、毎日の生活におけるあなたの行為・言動、あなたの真の現れのレベルを「実感」することができます…

　そして勿論、あなたはこのあなたの現れのレベルを比べるための基準、物差しが使うべきです…それによってあなたの現在のパーソナリティーが成長するように。もし物差しを使わないと、この観察点から観察しても助けにはなりません…なぜなら、この観察点から見ると、比較という知識がないからです…比較という知識は物差し、基準であり、それは現在のパーソナリティーに知識として与えられているものです…

　この努力が続くことを願います…それによってあなたの現在のパーソナリティーがもっともっとLifeそれ自体から表現することができるように、そして同胞の人間達にとってあなたがもっともっと役立つことができるように…

　最愛のお方のアガペと祝福があなたに、あなたが愛する人々に、あなたの家庭に、そして世界全体に降り注がれますように…

　私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

Q：五芒星を上向きにすることで何を達成しようとするのでしょうか？

K：それは五感に関係しています。なぜなら現在のパーソナリティーが下向きにフォーカスしている時には、真の感覚の影を使用しています。そして勿論、現在のパーソナリティーの諸体も不定形です。上向きにするために努力することで、創造界におけるLifeそれ自体および天上人の体である大きな五芒星がその正しいポジションに来ます。

Page6

Q: 五芒星に関して何を達成しようとするかはわかりますが、14芒星についてはどうですか？

K：何であれこれらのシンボルが意味することにアプローチするためには、ピラミッドのような三次元における類似したシンボルが創造される必要があります。しかし、14芒星のピラミッドはありません、なぜならそれは法則であり、助けではないからです。

　Lifeの本質を意味する三面ピラミッドがあります。2次元の三角形でLifeが意味されます。

　14芒星はtetractis（？）の結果として、4つのエレメントの結果です。Tetractisとはなんでしょうか？それは4つのサイドで作られ、同時に十字によって作られます。十字によってどのように創造されるのでしょうか？十字の中心はtetractisの中心であり、それはもし他の2本の想像上の線（一本が水平線、もう一本が垂直線）でつながれると、4つの長方形ができます。また、十字はバランスの諸世界へのLifeの下降であり、そこでは4つのエレメントが使用されると述べました。勿論、十字の他のシンボルもありますが。

Q：私たちが意識を純白のサイドに転送し、ピラミッドの中央で立っている自分自身を見る時、私たちは創造のセルのなかにいるのですか？

K：違います。私たちには体、完全な体があります。そのポジションから私たちは五芒星のなかにいる自分を見ません。私たちが五芒星なのです。その体はいかなるシンボルも必要とせず、それは完全です。そこでは全てが活性化されます。努力とは意識として完全にその体に入ることです。言い換えれば、影がLifeのスパーク（それが影を創る）のなかに同化されるべきです。なぜなら、スパークにはすでにその体があるからです。

　言い換えれば、私たちは体を創造することはしません。体はすでにそこにあります。私たちがやるべきことは不定形の諸体を再形成することです。その結果、特質のなかではなく、その体にマッチするように。形としてマッチするように。そして自動的に、完全に再形成されたサイコノエティカル体はそのなかに同化します。

　そしてLife、そのステートに到達した現在のパーソナリティーはその波動を下げることによって、自動的にヒポスタシスを取ることができます。しかしその体は完全に再形成されたままです。なぜなら、もし完全に再形成された状態に留まらないと、そのパーソナリティーは人の苦しみを背負うことによって人々を助けることができないからです。なぜならば、サイコノエティカル体が肉体から切り離されることができるからです。肉体としてではなく、サイコノエティカル体として。それはサイコノエティカル体を切り離すことができるパーソナリティーは自動的にその波動がLifeの体の波動に上昇する、という意味ではありません。さもないと、そのパーソナリティーは痛みを背負うことができないでしょう。

Q：それは5番目のサイクルが完了した時に初めて生じるのですか？

K：じっさいに、4番目のサイクルが完了すると、自動的に5番目が加わります。そのときに、現在のパーソナリティーの潜在的可能性の大きなサイクルが完了します。そしてそのパーソナリティーは五芒星、14芒星のなかにいる代わりに、*実際に五芒星となるのです*。そして他の同胞の人間たちの苦しみを背負うことができる手段として、14芒星を使います。そのパーソナリティーはいまや六芒星を使います。

　ピラミッドのサイズはどうでしょうか？五芒星の外側のポイント（先端）が14芒星の内側の輪に触れるぐらい大きくなります。

EREVNA PYR No.15 KE04 No.4